

□日時:平成31年(2019)1月20日(日)15時～16時45分
□場所:熊本市立図書館(熊本市中央区大江町)2階集会室

第3回「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」実行委員会概要報告

※1/22版

1 参加者

堀浩太郎・吉田正昭・上田欣也・赤瀬恵・戸嵯孝行・石川幸彦・末永崇・
永田昭・安藤富士記・上村真理子・三隅康資・高谷和生 ※敬称略
※司会:赤瀬恵

2 開会挨拶

……堀浩太郎熊本大会実行委員長

開催まであと半年となった。急ピッチで計画案等の検討に入り、力を
合わせて内容のある大会となるよう願っています。熊本大会を成功させ
ましょう。



堀実行委員長の挨拶

3 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」

(1) 開催チラシ(案)の検討 ※資料1 1/12版

- 長野の事務局に役割分担を再確認したところ、当日資料等は長野で印刷するが、**開催チラシは地元作成・印刷であることが判明したので、今回の案提示**となった。
- 次回(3/17)第4回実行委員会で、最終文案等の決定としたい。
- 文案等はそれまでにメーリングリストに提示し、皆さん方で協議いただき、その後は戦跡保存全国ネット共同代表・事務局・全国運営で、事前に承認をとる予定。
- 4月当初には完成させ、各団体等での4月総会に間に合うように配布したい。枚数は5000枚の印刷予定。



合志近代遺産の会赤瀬さんの司会

(2) 実施要綱(案)の検討 ※資料2 1/12版

ア これまでの大会テーマの紹介と概要説明

- 第22回愛知豊川大会「戦争遺跡の保存活用と次世代への継承」
- 第21回高知南国大会「今こそ戦争遺跡を平和のために」
- 第20回長野松代大会「近現代の戦争遺跡を調査・保存し、平和のために活用しよう
～悲しみの砦を平和のいしずえに～」

イ 第23回熊本大会テーマ

- 戦争遺跡保存全国ネットワークのHPトップ・ロゴは、「戦争遺跡を史跡・文化財に、語り伝えよう戦争のこと」である。
- これまでの経緯、熊本県の現状を踏まえ「案1:戦争遺跡保存・活用と平和の学びの継承」、「案2:戦争遺跡の保存・活用と平和資料館のあるべき姿」、「案3:戦争遺跡の保存・活用と災害からの復興」とした。
- これまでに開催されてきた各大会では、前段「戦争遺跡の保存・活用」は「調査」も含め、必修事項であるとしておさえていきたい。後段は各開催地域の地域特性等を踏まえて検討いただきたく、上記の3案を提示した。
- 多発する災害からの戦争遺跡・遺産等の復旧の課題も全国大会として必要ではないか。
- 平成28年熊本地震では、長野県松代大会で熊本地震からの復興での特別決議を行っていた。いっぽう東日本大震災では、地域に戦跡保存団体が稀少であることから、被害は甚大であったが、まとまった運動とはならなかった。
- 熊本大会での地元からの地域発表内容に「熊本地震からの復興」の項目は含めたい。**
- 「平和資料(もの)の継承活動」も重要で、丁寧に取り組まなければならない項目ではないか。
- 学校での平和学習が低迷した状態でもあり、各団体の戦争遺跡を利用した地域の諸学校への学校支援・平和学習も必要な項目である。
- 「平和」「継承」は普遍的なワードであり、是非とも入れたい言葉である。
- 戦争遺跡を活用した地域づくりを、県内の各地域で進めている。その活動連携として、本会「戦争遺産フォーラムくまもと」があり、活動目標として県全体に関わる「ピースくまもと・平和資料館」設立に向けての準備活動をいま進めている。
- 全国の幾つかの自治体が行っている戦争遺跡を利活用した地域活性化の動きと、本熊本大会趣旨とは多少の齟齬やズレがあるのではないか。
- 前半文言は「戦争遺跡の保存・活用」とし、後半文言には「地域づくり活動」「地域の平和づくり」「地域をつなぐ活動」「平和活動の継承」の言葉を含めてはどうか。
- 本日の仮案では大会テーマを「戦争遺跡の保存・活用と地域をつなぐ平和活動」としたい。**

ウ 熊本大会の趣旨

- 熊本県の現状認識として、第六師団、西南戦争、西南戦争遺跡群、戦争遺産フォーラムくまもと、戦争遺跡を通しての地域づくり、市民グループによる平和資料館、平成28年度熊本地震、戦争遺跡の被害、熊本熊本地震からの復旧復興等をキーワードとして配した。
- 1977年「熊本空襲と戦争下の暮らしを記録する会」の発足による熊本空襲を記録する活動、戦後50年を節目とした「平和展開催、証言・記録集発刊」を契機として、次の「戦後60年」へとつながる動きを丁寧に活動として押さえるべきではないか。
- 戦争遺跡の調査・保存・活用の動きは、戦後60年が契機となっている。
- 熊本での戦跡保存団体の横連携「戦争遺産フォーラムくまもと」は大変貴重な運動であるので、全国にアピールしても良いのではないかと。
- 大会テーマ及び大会趣旨をとりまとめ、再度事務局で文言の加筆修正を行い、Googleグループメーリングリストで提示する。各会で持ち帰り、更に意見等を交わし、文言の整理を進めたい。次回(3/17)で決定をしたい。

エ これまでの記念講演内容・講演者の紹介と概要説明

- 第22回愛知豊川大会「愛知県の戦争記念碑からみた戦争と国民」 名古屋市生涯学習部文化財保護室学芸員 伊藤 厚史
- 第21回高知南国大会「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」 高知近代史研究会会長、土佐史談会副会長 公文 豪
- 第20回長野松代大会「発想の現場としてのマツシロ～私の取材ノートから～」 日本児童文学者協会評議員、キムの十字架作者 和田 登 ※20回開催記念イベント：朗読劇「女たちのマツシロ2016」



熊本大会内容の協議の様子

オ 第23回熊本大会の記念講演内容と講演者

- 「テーマ：熊本城と第六師団（仮）」「講演者：猪飼隆明・大阪大学名誉教授」
- 早期の押さえが必要と考え、昨年末で猪飼先生に講演依頼し「仮承諾」いただいた。
- テーマは猪飼先生で検討中。謝金は予算案がまだ立たず未定。

(3) タイムスケジュール（案）、各担当の配置・配当表（案） ※資料3・4 1/12版

- 事務局からの仮案の具体説明。次回以降に詳細な検討に入りたい。
- 25日（大会二日目）の受付時間と人員配置は
→終日交代しながらでも、複数人の常駐は必要。昼食時に弁当の受渡も行う。また、熊本城見学やオプションの見学会等への問い合わせ等も多くあると思われる。
- 図書交換会の具体的内容は
→全国の各団体から持ち込まれた図書・本類の販売会である。
- 24日（大会一日目）の全体会会場片付け
→終了後に事務局控室（5階中会議室）への物品片付け。懇親会参加の方は早め移動を。
- 26日（大会三日目）の見学会
→前回協議のとおり、A・Bの二コースとし、西南戦争関係は省き、パンフ案内とする。
- 第1日目「全体会」では地元からの司会・進行が必要。
→シナリオに沿っての進行を、どなたか女性か若い方にお願いしたい。
- 全国大会であるので、手話通訳者は必要ではないか。
→これまでは行われていなかったが、今熊本大会から依頼したい。
- ブレイクタイムで熊本地震への復興お礼としての「くまモン隊」の依頼
→すでに文書で依頼済み。出演については二ヶ月間で決定となり、直前の県事業等しだいでは困難な場合もある。予備としての他の押さえも次案として検討したい。

(4) 戦争遺跡保存全国シンポジウム開催にあたって

資料5 12/6版

- 「開催地元と全国事務局との役割分担」について、長野事務局よりの資料を熊本大会用に高谷で加筆修正済み。各自で内容等を確認ください。

(5) 「戦争遺産フォーラムくまもと事務局メーリングリスト」開設とその運用法と状況

- 戦争遺産フォーラムとして、メーリングリストの利用をお願いします。
- 全員協議の資料等をあげながら、全員で情報を共有していきましょう。
- 不明箇所は石川さんのメール等でおたずねください。

3 その他

- 次回の「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」「第4回現地実行委員会」を、平成31年3月17日（日）に開催予定。前半は「第7回ピースくまもと設立準備事務局会」

とする。

- 事前の全国運営会議は「3月30日（日）午後3時から、熊本市国際交流会館・5階小会議室（洋）」の予定。参加が可能であればお知らせください。その後6時から情報交換会（夕食）も別会場で予定。

- 4 閉会挨拶 ……くまもと戦跡ネット戸崎孝行
長時間にわたる協議、大変お疲れ様でした。資料だけでは解りづらい項目もありますが、当日に向けて漏れのないように全員で準備していきましょう。



くまもと戦跡ネット戸崎さん閉会挨拶

事務局連絡先
第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会
事務局長 高谷 和生（たかたに かずお）
□携帯 090-1513-528
□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp
□HP <https://www.kumamoto-senseki.net/>

本依頼書のみを送ってください

くまモン隊出動依頼書（H30. 8. 1以降）

申込日 2019 年 1 月 10 日

日程	2019 年 8 月 24 日（土 曜日）		
イベント名	第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会		
会場名・所在地	会場名：熊本市国際交流会館（6・7階ホール・他会議室） 所在地：熊本市中央区花畑4 18		
イベントの全体概要	戦争遺跡保存全国ネットワークでは「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を語り継ぎ、戦争遺跡を保存する活動を進めています。毎年各都市でシンポジウムを開催しており、今年は熊本大会として、第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会が進行を務めます。		
イベントのURL	https://sensekinet.jimdo.com/ https://www.kumamoto-senseki.net/9-2/	生放送（ネット配信含む）	有・無
一般入場	可 不可・その他（入場料は資料代）	入場料	有料・無料
出動スケジュール	告知可・告知不可	酒 宴	はい・いいえ
該当する出動目的に○	1. 熊本県のPR 2. 熊本県産品の販路拡大 3. くまもとサプライズの発信		
イベントの内容が上記出動目的に合致することの具体的な説明	本熊本大会への参加は県外120名、県内130名を予定しています。平成28年熊本地震に際しては、復興支援として長野県松代大会で「熊本地震復興支援の特別アピール文採択」や「復興支援募金」で全国からご支援を頂きました。地震から3年が経過し、県外参加の方々に「復興の今の姿」を肌で感じ、くまモン隊を通して「熊本の魅力」を伝えられたらと思います。また、これ以降はご家族・職場等での再度の来熊につながる機会となる事を願っています。		
・くまモンにしてみたいこと ・くまモン登場予定場面・時間等 ※ステージイベントの有無など、できるだけ詳細にお書き下さい	（出動時間） 12:15 ～ 12:45 （30分） ←サブ（1回ならメイン優先） （詳細）6階ホールにて来場者のお出迎え、来場者との握手などをお願い致します。 （出動時間） 14:40 ～ 14:50 （10分） ←メイン （詳細）大会全体会のブレイクタイムに出動いただき、当会作成PPを背景に「平成28年熊本地震への復興支援のお礼」を、壇上にてリアクションをお願いできればと考えています。また、くまモン体操も披露いただき参加者一同に「熊本の元気」をお伝えください。当日のプレゼン資料・原稿は当方にて作成いたします。読上げ者をご相談させてください。		

※イベントが酒宴を伴う場合は、「酒宴」欄の「はい」に○を御記入ください。
お酒の提供がある場には出動できませんので、出動のタイミングを調整する必要があります。

駐車場から会場入口までの距離	約100m	控室	有 無	音響 A：CDプレーヤー・マイク B：PA設備	有(A) 有(B)・無
主催者	くまモン隊出動の手引きの内容に同意の上、出動を依頼します。 ・第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会 ・戦争遺跡保存全国ネットワーク ※イベント主催者を御記入ください。受託者や企画運営会社からの依頼は受付けません。 なお、当面の窓口が主催者と異なる場合は、併記してください。				
担当者（部署）	高谷 和生（たかたに かずお） 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会 事務局長				
連絡先	〒865-0061 電話：090-1513-528 玉海市立願寺126-5 E-mail：takayanagi912@yahoo.co.jp				
当日現場責任者	氏名：石川 幸彦 電話：090-5729-3243 E-mail：colpospira@yahoo.co.jp				